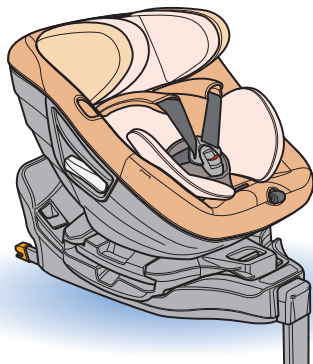




AILEBEBE

取扱説明書



KURUTTO SLIDE

クルットスライド

動画

取扱説明



危険

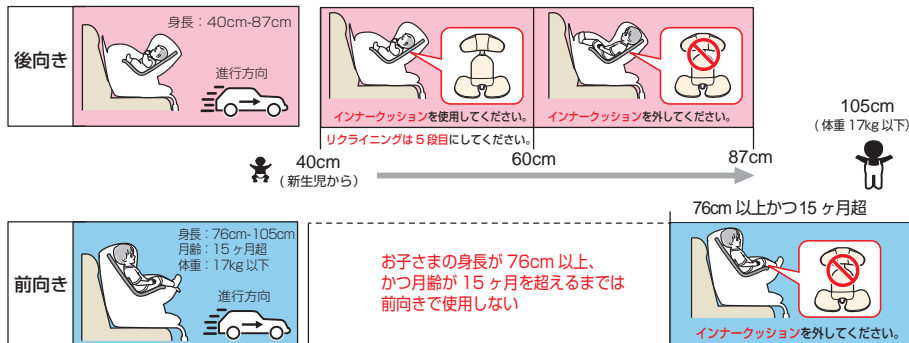
本品はお子さまを守るための安全製品です。誤った取り付け、使用はお子さまの死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。使用する前に必ず本書をよく読み、内容を充分にご理解のうえ、正しく使用してください。

本品の使用条件

<重要>

お子さまの身長が76cm以上、かつ月齢が15ヶ月を超えるまでは前向きで使用しないでください。
前向きで使用すると骨格や筋肉が未発達のため、衝突時に脳や首に重大な傷害を負う恐れがあります。
できるだけ長い期間、後向きで着席させ、衝突時の衝撃を背中全体で分散して受け止めるのが理想です。

シートの向き



お子さまの快適性のために足元が狭い場合は前向きで使用してください。

インナークッションの使いかた ➡ **59** ページへ

肩ベルト高さの調節



お子さまの成長に合わせて調節してください。

肩ベルトの高さ調節 ➡ **54** ページへ



目次

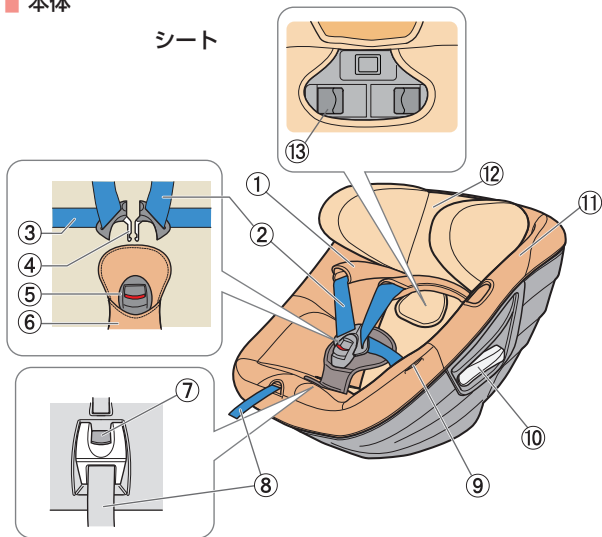
箱から出したらまず確認	付属品の使いかた
本品の使用条件..... 2	日よけを取り付ける..... 56
各部の名称と付属品..... 4	日よけの使いかた..... 57
チャイルドシートの正しい持ちかた..... 7	日よけを取り外す..... 58
安全にお使いいただくために..... 8	インナークッションの使いかた..... 59
緊急事態が発生したら..... 17	
車への取り付け・取り外し	お手入れのしかた
車へベースを取り付ける..... 18	カバーを取り外す..... 62
車からベースを取り外す..... 32	お手入れのしかた..... 66
シートをベースに取り付ける..... 35	カバーを取り付ける..... 67
シートを取り外す..... 38	
お子さまの乗せ降ろし	Q & A
お子さまを乗せる..... 40	よくあるご質問..... 76
お子さまを乗せた後の確認..... 48	
各部の使いかた	その他
リクライニングの操作方法..... 52	製品仕様..... 77
回転操作方法..... 53	保管方法..... 77
肩ベルトの高さを調節する..... 54	廃棄方法..... 77



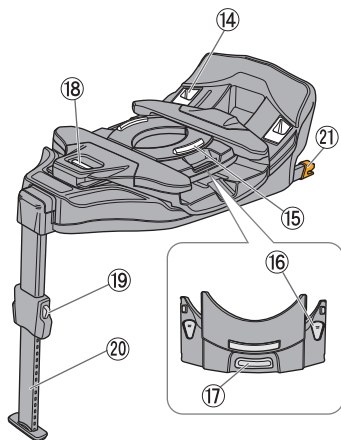
各部の名称と付属品

■ 本体

シート



ベース

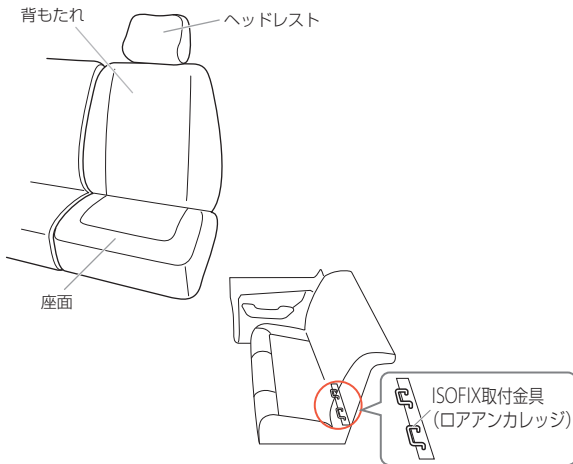


*グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

- ① 肩ベルトカバー
- ② 肩ベルト
- ③ 腰ベルト
- ④ タング
- ⑤ バックル
- ⑥ バックルカバー*
- ⑦ アジャストレバー
- ⑧ 肩ベルトアジャスター
- ⑨ タングホルダー (左右)*
- ⑩ 回転レバー (左右)
- ⑪ 本体カバー*
- ⑫ 背もたれカバー*
- ⑬ 肩ベルト調節レバー
- ⑭ コネクタレバー
- ⑮ スライドカバー
- ⑯ 解除ボタン
- ⑰ スライド解除ボタン
- ⑱ リクライニングレバー
- ⑲ サポートレッグ調節ボタン(左右)
- ⑳ サポートレッグ
(梱包時は収納されています)
- ㉑ コネクタ部 (左右)

■ 車の座席名称

本書では、車の座席周りの名称を次のように呼んでいます。





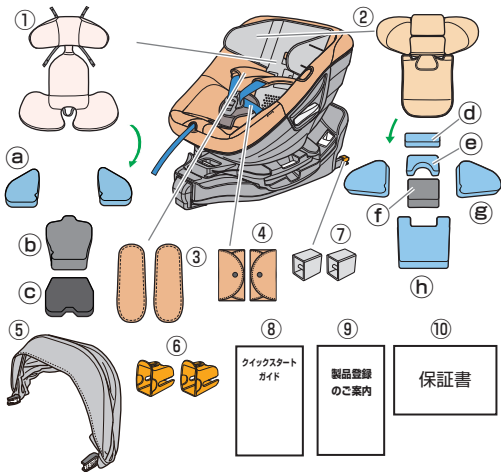
各部の名称と付属品

* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。
付属品の取扱説明書がある場合は、併せて参照してください。

付属品・仕様の詳細

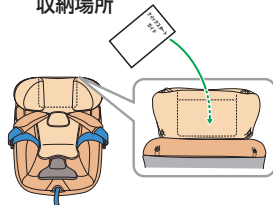


■ 付属品



- ① インナークッション*
 - Ⓐ インナーサイドクッション*
 - Ⓑ フラットクッション*
 - Ⓒ ヒップクッション
- ② 背もたれカバー*
 - Ⓓ ヘッドレストクッション(裏側)*
 - Ⓔ ヘッドレストクッション(上)*
 - Ⓕ ヘッドレストクッション(下)*
 - Ⓖ サイドクッション*
 - Ⓗ 背もたれクッション*
- ③ よだれパッド*
- ④ 腰ベルトカバー*
- ⑤ 日よけ*
- ⑥ フィックスガイド(L)
- ⑦ 保護部材
- ⑧ クイックスタートガイド
- ⑨ 製品登録のご案内
- ⑩ 保証書

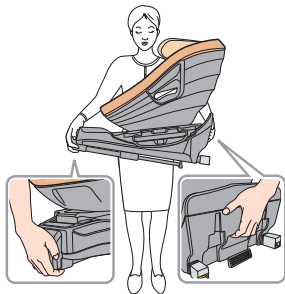
■ クイックスタートガイド 収納場所





チャイルドシートの正しい持ちかた

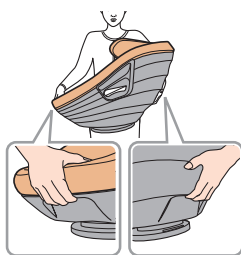
ベースの持ちかた



シートの持ちかた
シートの側面を持つ場合



シートの前後を持つ場合



警告

お子さまを乗せたままシートの取り付け・取り外し・持ち運びはしないでください。



注意

- 正しい持ちかたをしないと落下などの原因になります。
- 本品を持ち運びの際は日よけ部分(日よけを取り付けている場合)や肩ベルトカバー、レバーやボタンなどの操作部を持たないでください。
また34ページに従いコネクタ部を短くしてください。
- シートを置く場合は車の座面などに倒した状態で置いてください。
また地面等には置かないでください。本品にキズが付いたり、異物が混入するおそれがあります。



安全にお使いいただくために

■ 取り付け可能な座席

車の取扱説明書に**i-Size適合**、**ISOFIX対応**の表記や、マーク(9ページ参照)がある座席。

ご案内

※本品は、アイサイズ改良型幼児拘束装置です。

本品は、車の取扱説明書に表示されているアイサイズ適合車両着席位置に使用するものとして、UN規則 No.129に従って認可されています。取り付けに関してご不明な点等がありましたら、巻末に記載のWEBサイトまたは販売店にお問い合わせください。

- 本品は**i-Size**の使用を認可された車の座席に使用することができます。
- さらに、本品は**ISOFIX型チャイルドシート(ISO/R2,ISO/F2X)**の使用を認可された座席に使用することもできます。
ただし、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に使用できるものではありません。
- ご使用の際には、必ず以下の**適合情報**と**車の取扱説明書**をご確認ください。
- 取り付け可能な座席でも、360°回転できない座席やリクライニングに制限のある座席があります。

■ 適合情報の確認方法

店頭で.....「エールベベ車種別適合表」

パソコンで.....<https://www.ailebebe.jp/>

スマホで.....右記のQRコードからアクセスできます。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

適合情報確認



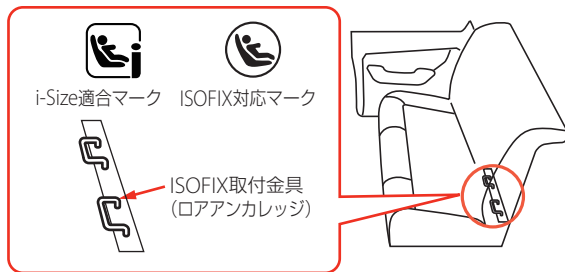
■ 使用可能なお子さまの条件

身長：40cm-105cm、体重：17kg以下

ISOFIX取付金具(ロアアンカレッジ)の確認方法



車により名称や位置が異なる場合があります。
必ず、車の取扱説明書で確認してください。





安全にお使いいただくために

■ 安全にお使いいただくための注意事項

取扱説明書および製品本体では、安全にお使いいただくための注意事項を次のように表示しています。表示内容をよくご理解ください。



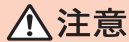
危険

記載事項を守らずに使用した場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる原因となります。



警告

警告を守らずに使用した場合、使用者の死亡や重傷を負う事故につながることがあります。



注意

注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながることがあります。

■ 使用上の注意事項



禁止

製品の取り扱いにおける禁止事項を示しています。

参考

本品を使用するうえで、知っておいていただきたい事項を示しています。

チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 危険

取り付け適合車種、取り付け適合座席以外では使用しない

- 本品は適合車種および適合座席に正しく取り付け、正しく使用しないと本来の性能を発揮できません。また、取り付ける車を替える場合は、再度、適合車種を確認してからご使用ください。

適合車種や座席の確認方法 ➡ **8** ページへ

走行中に取り付け・取り外しをしない

- 必ず安全な場所に駐車して行ってください。

エアバッグが装備されている座席で使用しない

- エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって、死亡や重症に至る危険性があります。なお、エアバッグが無作動にできる場合は、車の取扱説明書に従ってください。（サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。）

助手席について

- 衝突時、ほかの座席より損傷を受ける可能性が高いため推奨しません。





安全にお使いいただくために

⚠ 警告

取り付け後に車の座席をスライドまたはリクライニングしない

- チャイルドシートが正しく固定されず安全性が損なわれます。

サポートレッグは必ず車の床に接地させる

- サポートレッグが床に接地していない状態で使用すると、本品がしっかり固定されず、本品の性能を十分に発揮できないため、安全性が損なわれます。

緊急時の脱出の妨げになる座席には取り付けない(片側スライドドアの入り口側座席など)

- 事故などの緊急時に、同乗者の脱出の妨げになる座席には取り付けないください。

スライド機能がある車の座席で、サポートレッグがスライドレールに接触する場合は、メーカー純正のフロアマットを使用する

- サポートレッグが座席のスライドレールに接触したまま使い続けると、本品がしっかり固定されず、本品の性能を十分に発揮できないため、安全性が損なわれます。

サポートレッグが車内の凹凸やエアコン吹き出し口に干渉する場合は車の座席をスライドする

- スライド機能がある座席で、サポートレッグが車内の凹凸やエアコンの吹き出し口などに干渉する場合は、干渉しない位置まで車の座席をスライドさせてください。

強い衝撃を受けた際、本品の性能が十分に発揮できず、安全性が損なわれます。

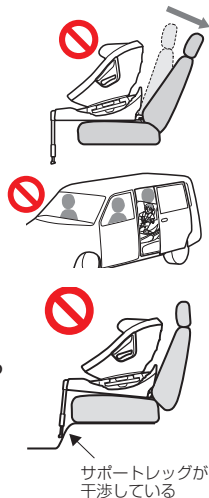
⚠ 注意

車の座席に取り付け跡やキズが残る可能性があります

- 車の座席の表皮素材によっては、取り付け跡だけではなく、座席の表面にキズが残るおそれがあります。

※革製などの車の座席に取り付ける場合

ご使用前に車の取扱説明書をご確認いただくか、車メーカー販売店等にお問い合わせください。
また座席が特別仕様の場合や、輸入車の場合は特にご注意ください。



チャイルドシートの取り扱いについて

⚠ 危険

取扱説明書に記載がない分解、改造、油をさす、および指定部品以外の交換はしない

- 本品の性能が十分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。

事故や強い衝撃を受けた場合は使用しない

- 外観上破損が確認できない場合でも、本品の強度が下がってしまうことがあるため、交換が必要になります。

本品の剛性部品とプラスチック部品は、可動式の座席や車のドアに挟まないように取り付ける

- 本品の強度が下がってしまうことがあります。



⚠ 警告

本品はカバーやクッション材を外した状態で使用しない

本品のカバーやクッション材を当社推奨のもの以外に交換しない

- 拘束性能や安全性能が損なわれる原因になります。

本品が入っているビニール袋は開封後すぐにやぶり捨てる

- お子さまが誤って袋に頭を入れ、窒息による死亡事故の原因になる場合があります。

バックルや可動部にゴミ・飲食物などの異物が入った場合は使用しない

- 本品の性能が十分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。

シート部にお子さまを乗せた状態で、取り付け、取り外し、持ち運びをしない





安全にお使いいただくために

⚠ 注意

チャイルドシートを直射日光にさらさない

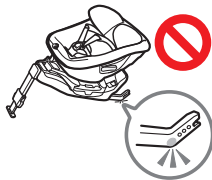
- 金属部分などが熱くなり、やけどの原因となる場合があります。また、お子さまを乗せる前には、金属部分以外も熱くなっていないか確認してください。

可動部に指を入れない

- 本品を回転、リクライニング、またはサポートレッグを操作する際は、可動部に指を挟まないようご注意ください。

本品のコネクタ部が曲がってしまった場合は、車に取り付けない

- コネクタ部が曲がった状態で車へ取り付けると、車のISOFIX取付金具から外せなくなるおそれがあります。



お使いになるお子さまの安全のために

⚠ 危険

使用条件にあったチャイルドシートの向きに固定する

- 本品を設置する際は、使用条件にあった正しい向きに固定しないと、本品の性能が十分に発揮できず、安全性が損なわれます。

➡ **2** ページへ

お子さまを立たせたり、中腰、正座をした状態で使用しない

- 本書に従い正しい乗車姿勢でお使いください。



⚠ 警告

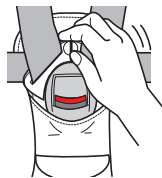
体格にあった肩ベルトの高さにする

- 体格にあった正しい肩ベルトの高さにしないと、本品の性能が十分に発揮できず、安全性が損なわれます。

➡ **54** ページへ

チャイルドシートのバックルを必ずロックする

- 本品のバックルをロックしないと、衝突時にお子さまが投げ出される危険性が高くなります。また、チャイルドシートを使用中のお子さま、または同乗のお子さまが、誤ってバックルの解除ボタンを押さないようご注意ください。





安全にお使いいただくために

お使いになるお子さまの安全のために

⚠ 警告

固定していないチャイルドシートを車内に置かない

- 急ブレーキや衝突時に同乗者のけがの原因となる場合があります。

肩ベルト・腰ベルトは正しい位置でゆるみ・よじれのない状態で使用する

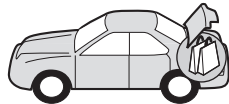
- 万が一事故が起きた際、本来の性能を発揮できません。
また、肩ベルト・腰ベルトが首に掛かり窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

お子さまだけを車に残さない

- お子さまが車内にいる時は、必ず保護者の方が付き添ってください。
特に夏場は車内が高温になり、熱中症を引き起こす原因となります。また、シートベルトが首に巻きついて窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

お子さまのけがの原因になるような荷物は必ず固定するかトランク内に収納する

- 急ブレーキや衝突時に、お子さまや同乗者のけがの原因になります。



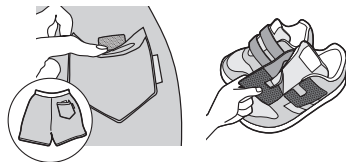
⚠ 注意

靴や衣服の面ファスナーが本品カバーに引っ掛からないように気をつける

- お子さまの靴や衣服の面ファスナーなどが本品のカバーに引っかかると、本品のカバーを傷める可能性があります。

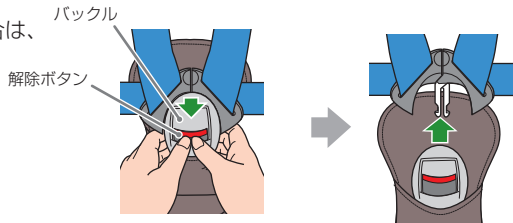
参考

お子さまの負担軽減のために1時間を目安に休憩してください。



緊急事態が発生したら

事故などの緊急事態が発生した場合は、バックルの解除ボタンを押して肩ベルトをお子さまの腕から外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。





車へベースを取り付ける

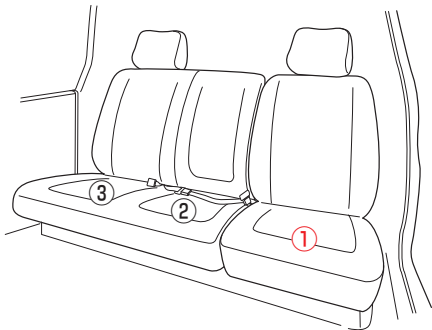
適合車種のご確認

本品を車に取り付ける前に適合車種を必ずご確認ください。

適合情報の確認方法 ➡  ページへ

本書で説明する座席について

本書では、車の左側の座席(①)を例に、
取り付け方法の説明をしています。

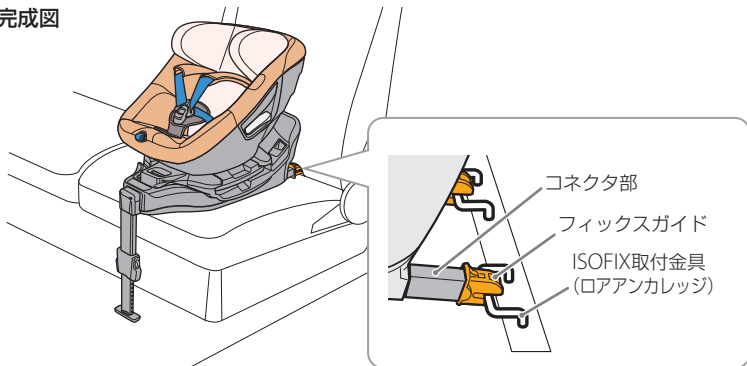


動画

ベースの取付方法・
取付後の確認



取り付け完成図

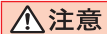


車により取付金具の名称や位置が異なる場合があります。必ず車の取扱説明書で確認してください。車の種類または座席によっては、フィックスガイドが必要ない場合や、座席のISOFIX取付金具にフィックスガイドを取り付けられない場合があります。このような場合は、フィックスガイドを使用せずに取り付けてください。



危険

本品は、ISOFIX取付金具の装備されていない座席に、車のシートベルトなどで固定することはできません。ISOFIX取付金具以外では、本品が正しく固定されず本来の性能が発揮できません。



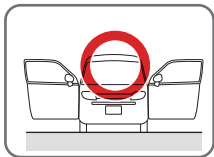
注意

フィックスガイドを無理に取り付けると座席が破損、またはキズが付くことがあります。

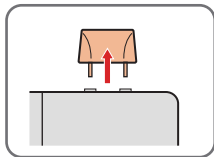


車へベースを取り付ける

作業前の準備

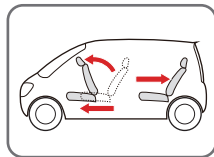


ドアの全開が可能な、広く平らな場所で行ってください。



本品の取り付け時または操作時に、車のヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストを上げる、または取り外してください。

また本品とテーブル、ドリンクホルダー、アームレスト等が干渉する場合は収納、または取り外してください。



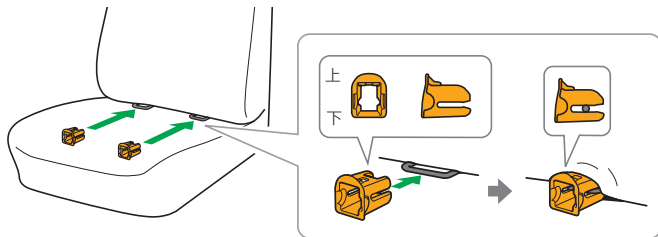
車内の作業スペースを確保するために、座席を倒したり、スライドさせて、できるだけスペースを確保してください。

取り付け後は本品が前席に接触しないように各座席を適切な位置に戻してください。

1

フィックスガイド(黄色)を袋から取り出し、車のISOFIX取付金具に差し込む*

* 必要ない場合もあります。下記を参照してください。



* ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えにくい、またはISOFIXコネクタを差し込みにくい場合は、フィックスガイドを使うことで、チャイルドシートが取り付けやすくなります。
車の種類または座席によっては、フィックスガイドが必要ない場合や、座席のISOFIX取付金具にフィックスガイドを取り付けられない場合があります。このような場合は、フィックスガイドを使用せずに取り付けてください。

! 注意

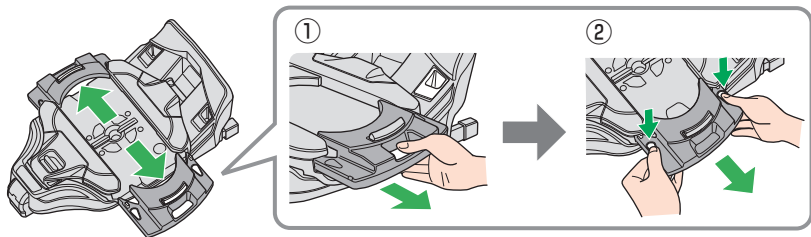
フィックスガイドを無理に取り付けると座席が破損、またはキズが付くことがあります。



車へベースを取り付ける

2

両側のスライドカバーを外す



① スライドカバーを引き出す。

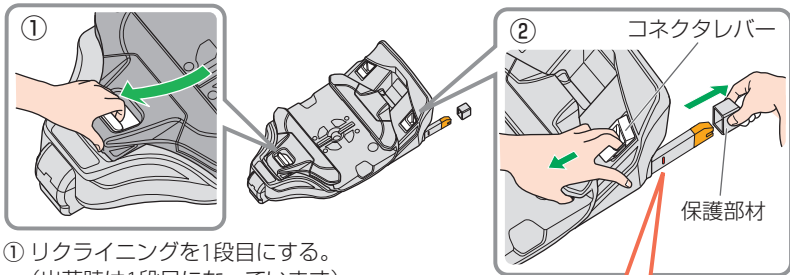
② 左右の解除ボタンをしっかりと押し込み、手前に引き抜く。

参考

左右の解除ボタンをしっかりと押し込めない場合は、スライドカバーを少し奥へ戻すと押し込めます。

3

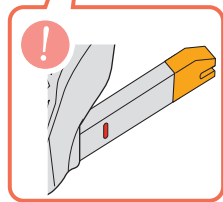
保護部材(灰色)を外す



- ① リクライニングを1段目にする。
(出荷時は1段目になっています)。

リクライニングの操作方法 ➡ **52** ページへ

- ② コネクタレバーを強く握りながら、保護部材を勢いよく外す。
コネクタレバーは左右にあるので片側ずつ操作してください。
保護部材は本品のコネクタ部を短くする際にも使用するため、捨てずに保管してください。



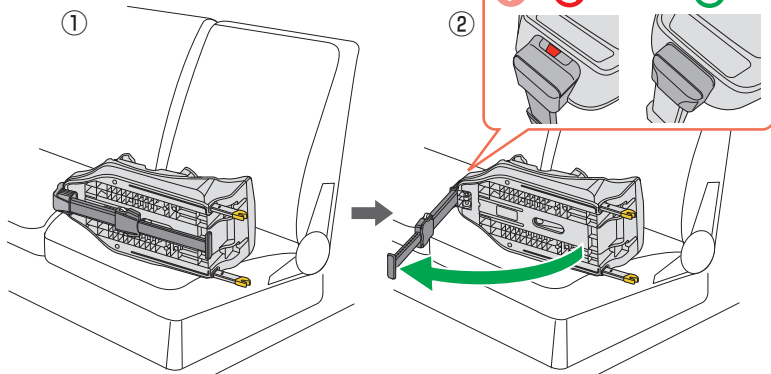
⚠ 注意 保護部材を外した後にコネクタ部のインジケータが**赤色**になっていることを確認してください。



車へベースを取り付ける

4

サポートレッグを取り出す

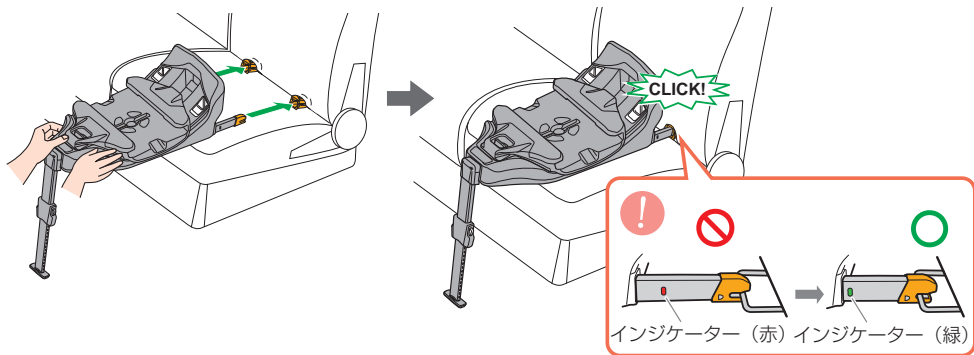


① ベースの底面が見えるように置く。

② サポートレッグを引き出す。

⚠ 注意 サポートレッグ底部の部品が擦れ、座席にキズや汚れが付く場合があります。

5 コネクタ部を座席のISOFIX取付金具に押し込む



ベースを座席に乗せ、左右両方のコネクタ部を座席のISOFIX取付金具にカチッと音が鳴るまでしっかり押し込む。

注意 コネクタ部のインジケータが左右両方とも**緑色**になっていることをご確認ください。

参考

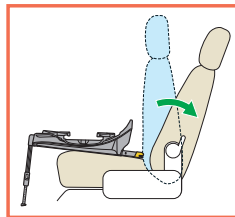
サポートレッグは自重で自動的に伸びます。



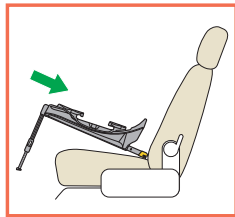
車へベースを取り付ける

参考 ISOFIX取付金具にコネクタ部が届かない場合

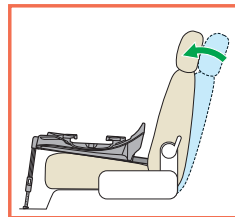
ISOFIX取付金具が座席の下側に付いている場合や車の座席形状により、ISOFIX取付金具にコネクタ部が届かない場合は、背もたれを倒してコネクタ部を押し込んだ後、背もたれを起こしてください。



①背もたれを倒す



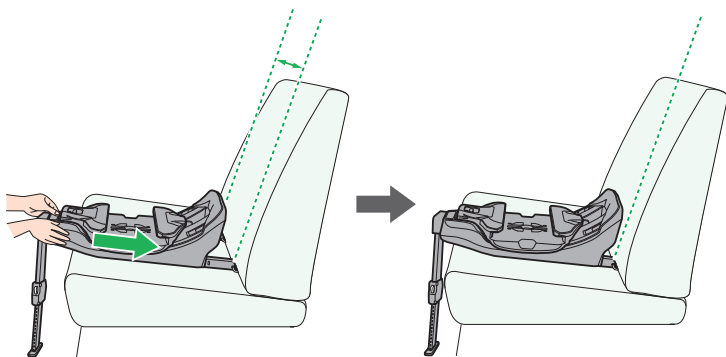
②コネクタ部を押し込む



③背もたれを起こす

6

ベースを押して、座席の背もたれに密着させる



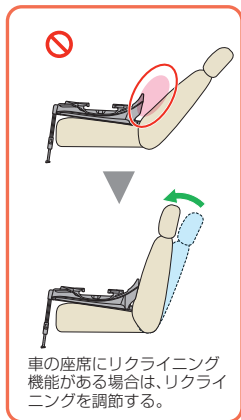


車へベースを取り付ける

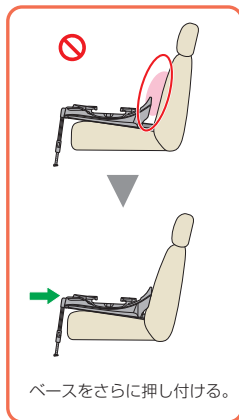
参考 ベースと車の背もたれに隙間がある場合

ベースと車の背もたれに隙間がある場合、以下の方法で密着させてください。

背もたれが倒れすぎて
隙間がある場合

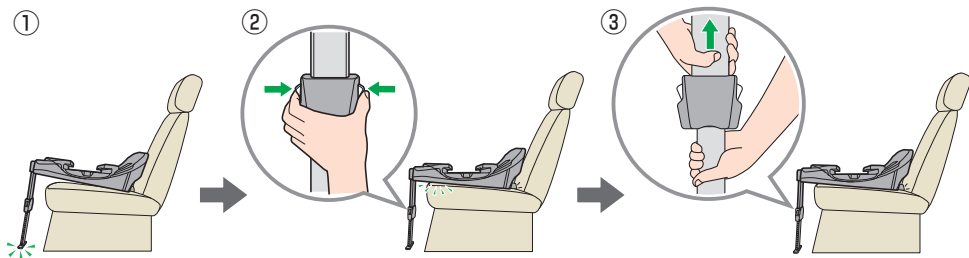


ベースと背もたれに
隙間がある場合



7

サポートレッグを調節する



- ① サポートレッグの底部を車の床面に接地させる。(自重で自動的に伸びます)
- ② 左右のサポートレッグ調節ボタンを押し、ベース底面を車の座面に接地させる。
- ③ サポートレッグをさらに3cm位伸ばす。

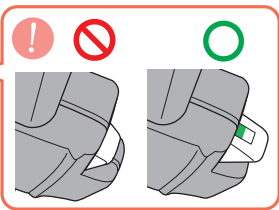
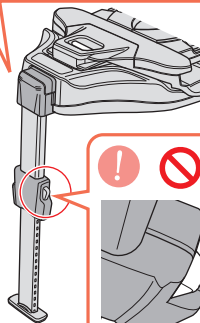
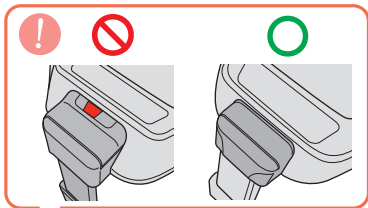
参考

本品のベースと車の座面に隙間ができる場合がありますが安全性能上、問題はありません。



車へベースを取り付ける

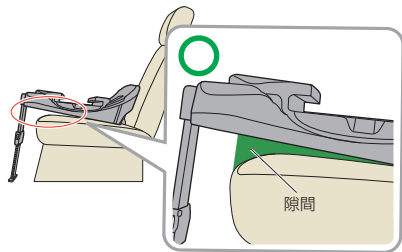
④



④ インジケーターを確認する。

参考

左右のサポートレッグ調節ボタンの緑色のインジケーターが完全に見えていない場合は、サポートレッグを3cm位伸ばしてください。
本品のベースと車の座面に隙間ができる場合がありますが安全性能上、問題はありません。



取付後の確認

正しく取り付けできない場合は、最初からやり直してください。
取り付けに関してご不明な点等がありましたら、巻末に記載のWEBサイトよりお問い合わせください。



警告

取り付け後に、車の座席をスライドまたはリクライニングしないでください。
チャイルドシートが正しく固定されず安全性が損なわれます。

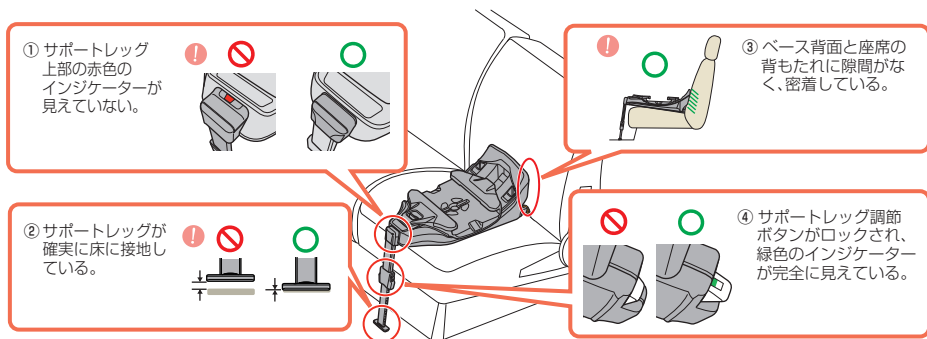
動画

ベースの取付方法
取付後の確認



参考

本品のベースと車の座面に隙間ができる場合がありますが安全性能上、問題はありません。





車からベースを取り外す

参考

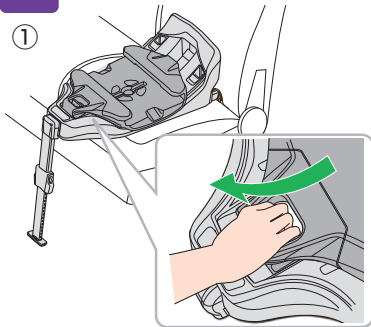
作業スペースを確保してください。ベースの取り外し方法

動画

作業前の準備 ➔ **20** ページへ

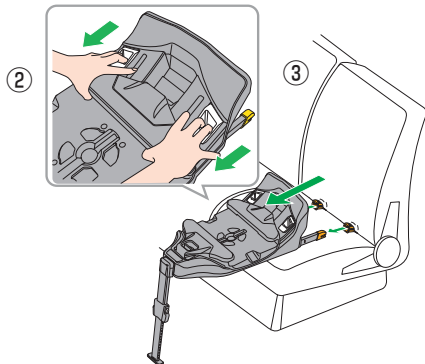


1 ベースを座席から引き抜く



① リクライニングを1段目にする

リクライニングの操作方法 ➔ **52** ページへ



② 左右のコネクタレバーを強く握る。

③ コネクタレバーを強く握りながら、コネクタ部がISOFIX取付金具から外れるまでベースを引っ張る。



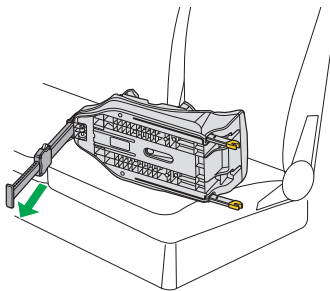
注意

製品の落下等でISOFIXコネクタが破損・変形していると、取り外しにくい場合があります。また破損・変形している場合は、車に取り付けないでください。

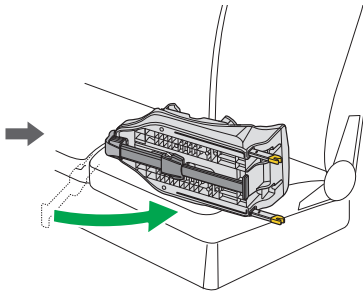
2

サポートレッグを収納する

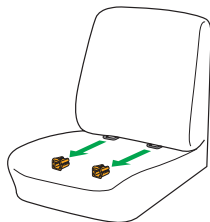
①



②



3

車の座席から
フィックスガイド
を引き抜く

① ベースを倒し、サポートレッグを最大まで長くする。

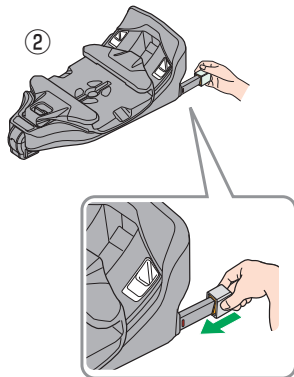
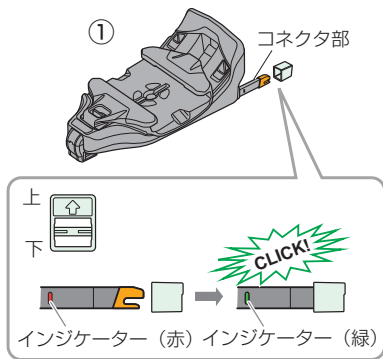
② サポートレッグを折りたたむ。

⚠ 注意 サポートレッグ底部の部品が擦れ、座席にキズや汚れが付く場合があります。



車からベースを取り外す

4 本体のコネクタ部を収納する



① 保護部材を左右のコネクタ部に、カチッと音が鳴りインジケーターが緑になるように取り付ける。

② コネクタ部が短くなるように押し込む。



シートをベースに取り付ける

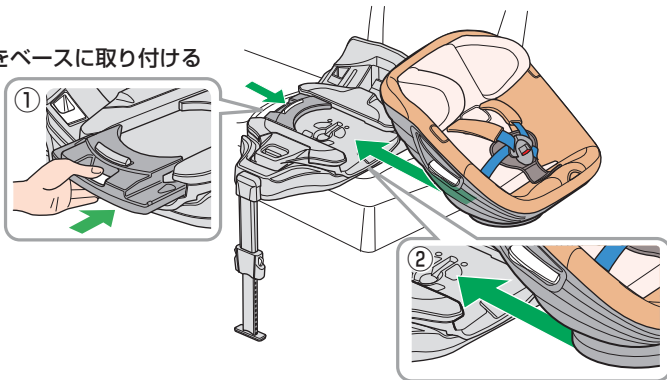
動画

シートの取付方法・
取付後の確認



1

シートをベースに取り付ける



次ページに

① 奥側のスライドカバーをベースに差し込む。

② ベースに対し90°の向きでシートを差し込み、ロックするまで押し込む。

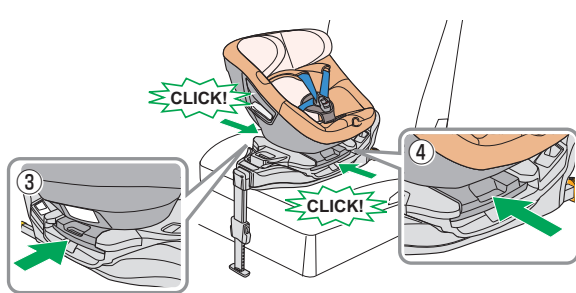
参考

車のドア開口部が小さい、車の内装に干渉するなどスライドカバーやシートが取り付けできない場合は、スライドカバー・シートをベースに取り付けてから、ベースごと座席に取り付けてください。

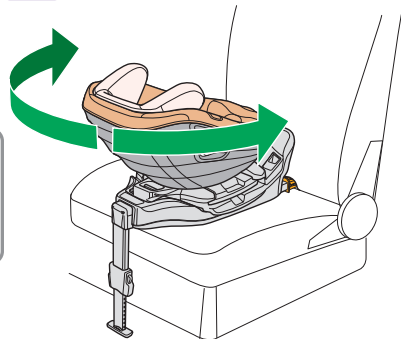


シートをベースに取り付ける

2 シートを回転する



- ③ 奥側のスライドカバーをロックするまで押し込む。
- ④ 手前側のスライドカバーを差し込み、ロックするまで押し込む。



シートを後向きまたは前向きに回転する。

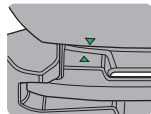
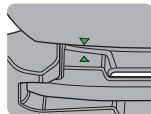
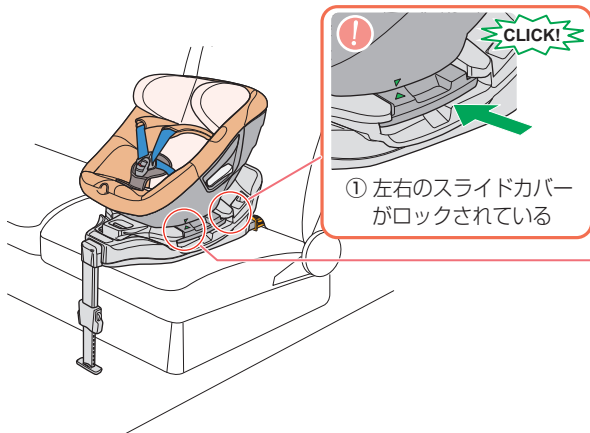
回転操作方法 → **53** ページへ

取付後の確認

正しく取り付けできない場合は、最初からやり直してください。
取り付けに関してご不明な点等がありましたら、巻末に記載のWEBサイトよりお問い合わせください。

動画

シートの取付方法・
取付後の確認



② シートの回転がロックされている

参考

車のヘッドレストに本品が干渉している場合は、車のヘッドレストを外してください。



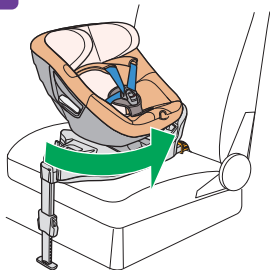
シートを取り外す

動画

シートの取り外し方法



1 シートを横向きに回転させる



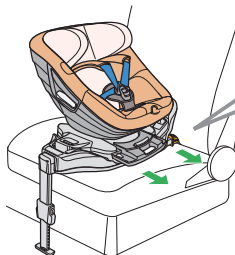
シートを横向きに回転させる。

回転操作方法 ➔ **53** ページへ

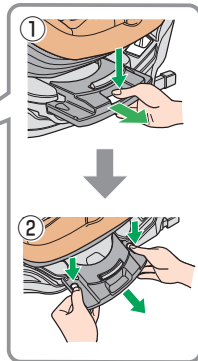
参考

車のドア開口部が小さい、車の内装に干渉するなどスライドカバーやシートが取り外せない場合は、スライドカバー・シートをベースに取り付けたまま、ベースごと座席から取り外してください。

2 手前側のスライドカバーを外す



- ① 中央のスライド解除ボタンを押し、スライドカバーを引き出す。
- ② 左右の解除ボタンをしっかりと押し込み、手前に引き抜く。

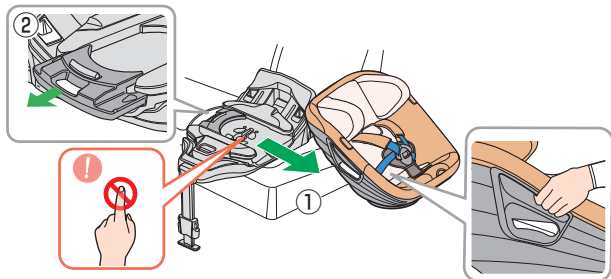


参考

左右の解除ボタンをしっかりと押し込めない場合は、スライドカバーを少し奥へ戻すと押し込めます。

3

シートを取り外す



- ① シートをスライドして、取り外す。
 ② スライドカバーを取り外す。

⚠ 注意

シートをスライドする際、ベースとシートの間に指を挟まないようご注意ください。

⚠ 警告

お子さまを乗せたままシートの取り付け・取り外し・持ち運びはしないでください。

⚠ 注意

- 正しい持ちかたをししないと落下などの原因になります。
- 本品を持ち運びの際は日よけ部分(日よけを取り付けている場合)や肩ベルトカバー、レバーやボタンなどの操作部を持たないでください。
また34ページに従いコネクタ部を短くしてください。
- シートを置く場合は車の座面などに倒した状態で置いてください。
また地面等には置かないでください。本品にキズが付いたり、異物が混入するおそれがあります。



お子さまを乗せる

■ お子さまを乗せる前の確認事項

チャイルドシートの向き

お子さまの身長が76cm以上、かつ月齢が15ヶ月を超えるまでは後向きで使用してください。

本品の使用条件 ➔ [2](#) ページへ

インナークッションの有無とリクライニング

お子さまの身長が60cm以下の場合はインナークッションを使用し、リクライニングを5段目にしてください。

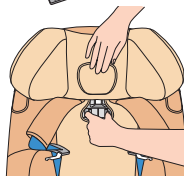
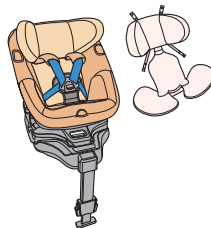
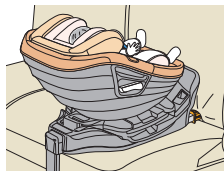
インナークッションの使いかた ➔ [59](#) ページへ

リクライニングの操作方法 ➔ [52](#) ページへ

肩ベルトの高さ(ヘッドレストの高さ)

お子さまの成長に合わせて、肩ベルトの高さを調節してください。

肩ベルトの高さ調節 ➔ [54](#) ページへ



動画

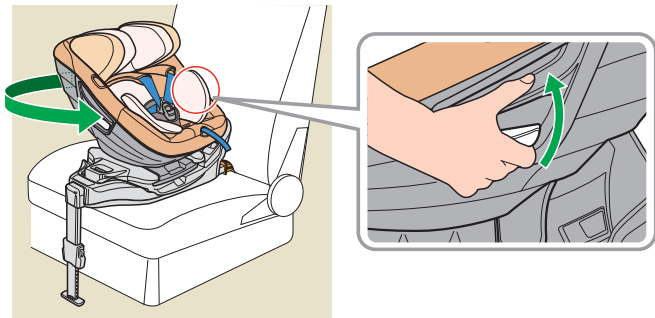
お子さまの
乗せ降ろし



警告

極端に厚着をした状態のお子さまは乗せないでください。
お子さまをしっかり拘束できない場合があります。

1 シートを横向きに回転させる



シートを横向きに回転する。

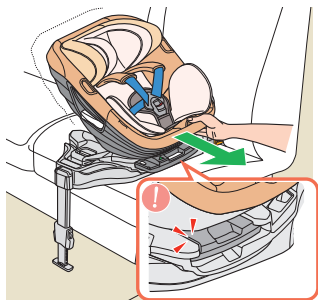
回転操作方法 ➡ 53 ページへ



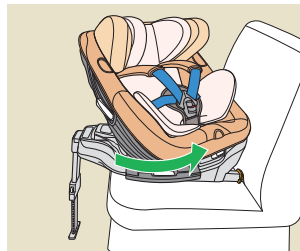
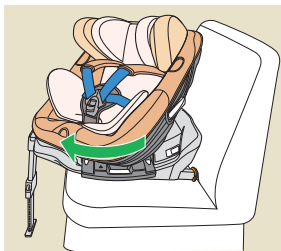
お子さまを乗せる

2 シートをスライドする

お子さまの乗せ降ろしをしやすいするために、シートを掴んで手前にスライドさせます。



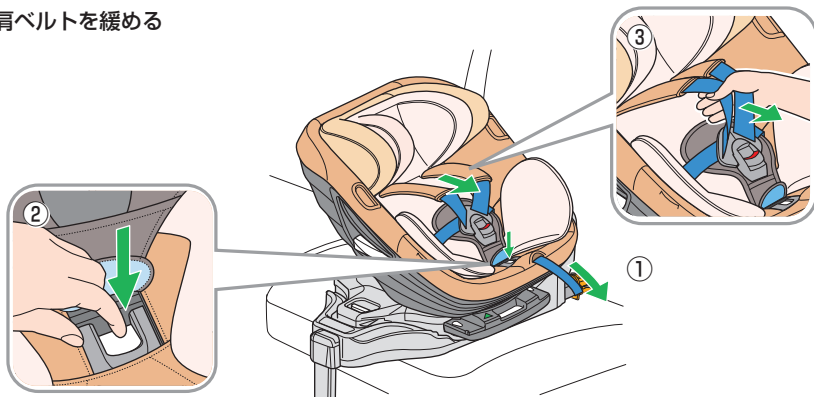
参考 手前にスライドした位置で、シートを左右に約30°ずつ回転できます。



注意

- 必ずスライドカバーを取り付けた状態で操作してください。シートが脱落するおそれがあります。
- 車によってはスライドやスライドした状態での回転ができない場合があります。

3 肩ベルトを緩める



- ① 肩ベルトアジャスターを出す。
- ② アジャストレバーを押しながら、
- ③ 肩ベルトを引っ張り出して、緩める。
肩ベルトは左右両方とも緩めてください。

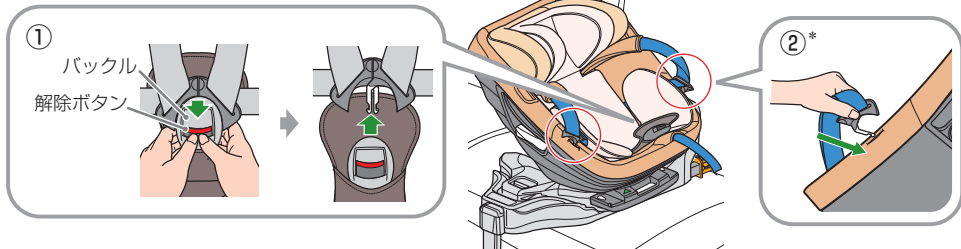
参考 肩ベルトカバーを引いても、肩ベルトは緩みません。





お子さまを乗せる

4 バックルを解除する



① バックルの解除ボタンを下に押し、タングを外す。

② 外したタングをタングホルダー*に入れておく。

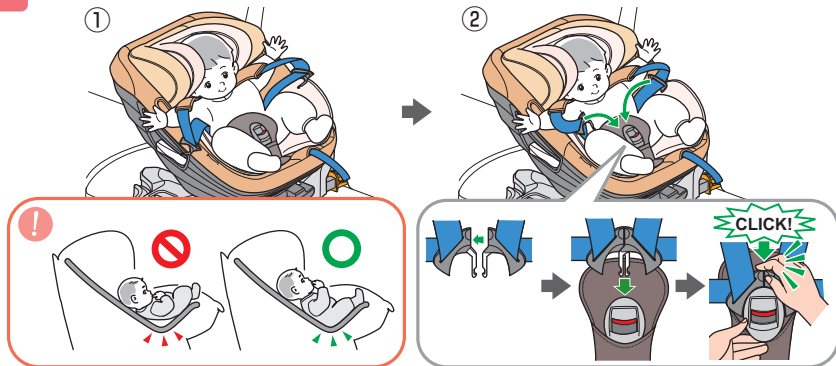
乗せ降ろしの際に、タングやベルトが邪魔にならず、便利です。

*タングホルダーはグレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

参考 バックルの解除ボタンは、規則により容易に外れないよう固くしてあります。

5

お子さまをシートが一番深い位置に座らせ、タングをバックルに差し込みロックする



① お子さまの腕に肩ベルトを通す。

② 左右のタングを重ね合わせてバックルに差し込み、確実にロックする。



注意

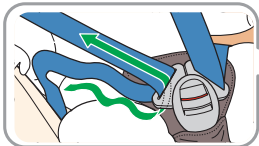
お子さまのおしりが一番深い位置になるように座らせてください。



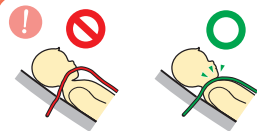
お子さまを乗せる

6 腰ベルト、肩ベルトを締める

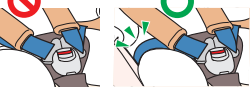
①



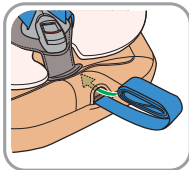
②



!



③



- ① 肩ベルトを引き上げ、腰ベルトの緩みを取り、よじれを直す。
- ② 肩ベルトがお子さまの肩にかかり、肩から鎖骨まで密着するように、肩ベルトアジャスターを引き、肩ベルトでお子さまをしっかりと拘束する。
- ③ 引いた後の肩ベルトアジャスターは、邪魔にならないように折り、シート前面の隙間に収納する。

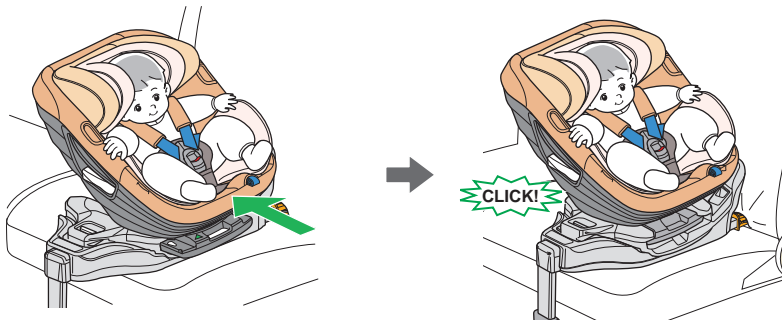


警告

腰ベルトは低い位置でお子さまの骨盤を拘束してください。

7

シートをスライドし、元に戻す



シートをスライドさせ、ロックするまで押し込む。

**注意**

必ずスライドカバーを取り付けた状態で操作してください。シートが脱落するおそれがあります。

お子さまを乗せた後の確認

お子さまを乗せ終わったら、次のポイントを確認する。

動画

肩ベルトの調節・
お子さまを乗せた後の確認



① 肩ベルトが適切な高さになっている。



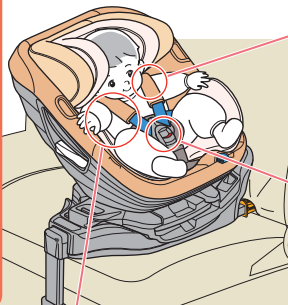
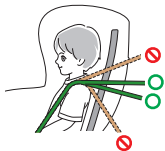
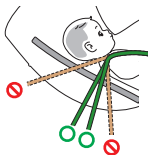
後向き

お子さまの肩と同じか、肩より一段低い位置で使用してください。



前向き

お子さまの肩と同じか、肩より一段高い位置で使用してください。



③ 肩ベルトがお子さまの肩にかかり、鎖骨まで密着するように締められていて、よじれていない。



④ バックルが確実に差し込まれている。

⑤ お子さまの身長・月齢に合わせてインナークッションが調節されている。

⑥ お子さまのおしりが一番深い位置になっている。

② 腰ベルトは低い位置でお子さまの骨盤を拘束し、緩んだり、よじれていない。



腰ベルト・肩ベルトの
締めかた ➡

46 ページへ

肩ベルトの高さ調節 ➡

54 ページへ

お子さまの身長・月齢に合わせてシートを後向き、または前向きに回転させて、固定する。

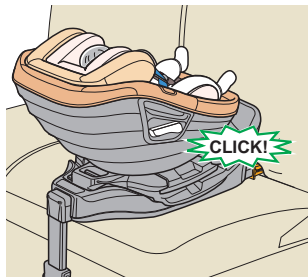
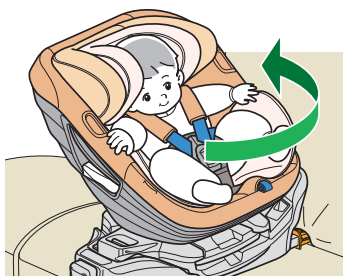
本品の使用条件 ➔ **2** ページへ



後向き

身長：40cm-87cm

後向きにシートを回転させて、固定する。回転操作方法 ➔ **53** ページへ



警告

走行中は、必ずシートを後向き、または前向きで固定してください。固定していない状態で使用すると、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負う恐れがあります。



注意

シートを後向きで使用する場合は、シートを回転する際、お子さまの足が座席の背もたれに当たる場合があるので注意してください。

お子さまを降ろす場合は乗せる手順と反対の順番で降ろしてください。
降ろした後、必ずシートをスライドさせロックする位置まで押し込んでください。



お子さまを乗せた後の確認



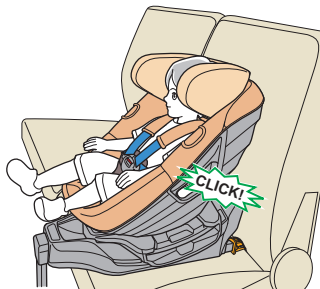
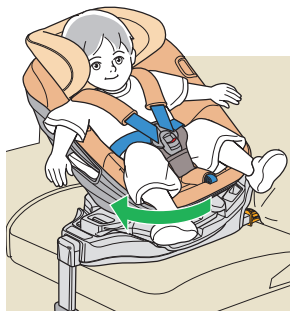
前向き

身長：76cm-105cm

月齢：15ヶ月超

前向きにシートを回転させて、
固定する。

回転操作方法 → **53** ページへ



危険

お子さまの身長が76cm以上、かつ月齢が15ヶ月を超えるまでは前向きで使用しないでください。



警告

走行中は、必ずシートを後向き、または前向きで固定してください。固定していない状態で使用すると、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負う恐れがあります。

お子さまを降ろす場合は乗せる手順と反対の順番で降ろしてください。
降ろした後、必ずシートをスライドさせロックする位置まで押し込んでください。

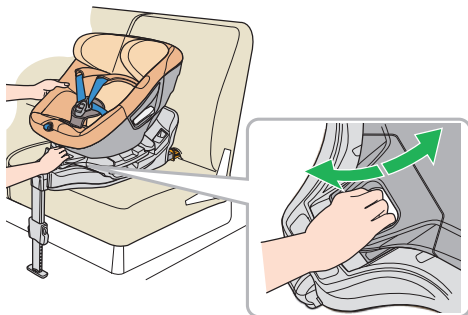
—MEMO—



リクライニングの操作方法


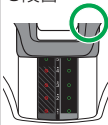

動画

リクライニング操作方法・
回転操作方法



リクライニングレバーを握りながら、シートのリクライニング角度を調節してください。

使用できるリクライニング段数

お子さまの身長	使用可能な段数
60cm以下	5段目  危険 1-4段目は 使用できません。  
60cmを超えたら	1-5段目

 危険

走行中は、リクライニング操作をしないでください。

 注意

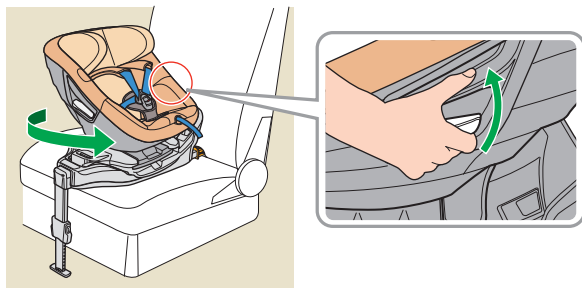
- 車によっては本体が車の座席や内装に干渉して、リクライニングできる段数が限られる場合があります。
- リクライニング操作の際は、可動部に指を挟まないようにご注意ください。



回転操作方法

動画

リクライニング操作方法・
回転操作方法



左右どちらかの回転レバーを引き上げ、シートを回転します。

危険

- 走行中は、必ず本品の使用条件に従ってシートを前向き、または後向きに固定してください。
- 走行中は、シートの回転操作をしないでください。

注意

- 車によっては本体が座席や内装に干渉して、360度回転できない場合があります。
- 回転操作の際は、可動部に指を挟まない、お子さまの身体が挟まらない・ぶつからないようにご注意ください。
- シートを後向きで使用する場合は、シートを回転する際、お子さまの足が座席の背もたれに当たる場合があるので注意してください。



肩ベルトの高さを調節する

動画

肩ベルトの調節・
お子さまを乗せた後の確認



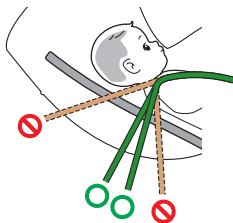
肩ベルト高さの目安

肩ベルトは適切な高さで使用してください。



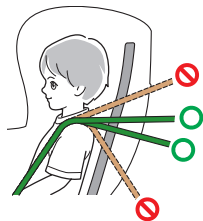
後向き

お子さまの肩と同じか、肩より一段低い位置で使用してください。



前向き

お子さまの肩と同じか、肩より一段高い位置で使用してください。

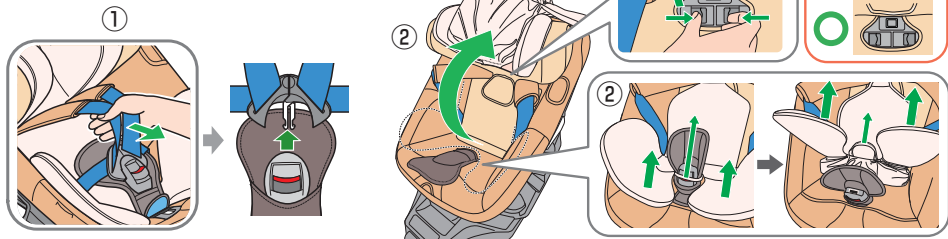


正しい肩ベルトの高さで使用していないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負う恐れがあります。

1

日よけが付いている場合は外し、肩ベルトの
高さを調節する

日よけの取り外しかた → **58** ページへ



- ① 肩ベルトを緩め、バックルを解除する。② インナークッションをめくり上げる(装着している場合のみ)。
 肩ベルトの緩めかた → **43** ページへ ③ フラップをめくり、肩ベルト調節レバーをつまんで高さを調節する。
 バックルの解除方法 → **44** ページへ ④ レバーが元に戻り、ロックされたことを確認する。



警告

肩ベルト調節レバーはシートからお子さまを降ろした状態で操作してください。
 お子さまを乗せた状態、バックルをロックした状態、肩ベルトを締めた状態では操作できません。
 肩ベルト・腰ベルトが締まったり緩んだりするため、万が一事故が起きた際、本来の性能を発揮できません。



注意

肩ベルト調節レバーは無理に操作しないでください。
 破損やけがの原因になる場合があります。



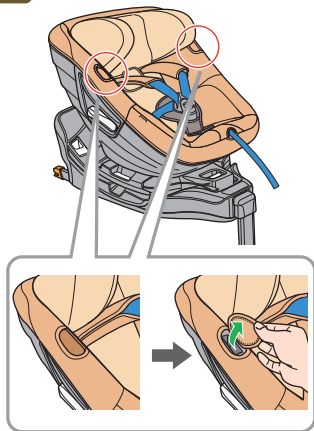
日よけを取り付ける (日よけ付きモデルの場合)

動画

日よけの取付・使用・取外方法

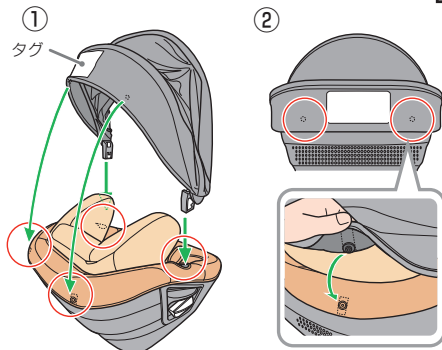


1 本体カバーのフラップを外側に出す



本体カバーの両側にあるフラップを外側に出す。

2 日よけを差し込み、ボタンを留める



- ① タグが付いている方をシートの後ろ側にして日よけを差し込む。
- ② 日よけ背面のボタン(2か所)と本体カバー背面のボタンを留める。



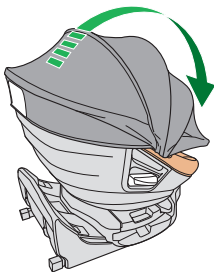
日よけの使いかた

* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

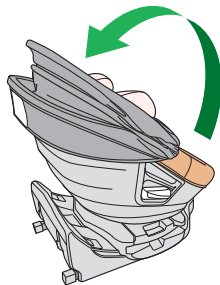
日よけの使用期間の目安

日よけを折りたたんだ状態で、お子さまの頭やヘッドレストが日よけに干渉しない間は、使用できます。お子さまの体重が15 kgを超えた場合は、日よけを外してください。

日よけを広げる



日よけをたたむ



⚠ 注意

- 本品を持ち運びする際は日よけ部分を持たないでください。破損するおそれがあります。
- 日よけをご使用中にお子さまの頭が日よけに干渉する場合や、お子さまの乗せ降ろしの際に、日よけが妨げになる場合は、日よけを取り外してください。
- 日よけに、おもちゃやサンシェードなどを取り付けないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまに当たるおそれがあります。



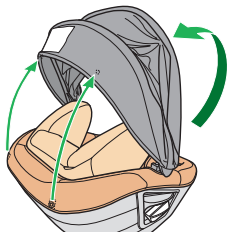
日よけを取り外す (日よけ付きモデルの場合)

動画

日よけの取付・使用・取外方法



1 日よけ背面のボタンを外してたたむ



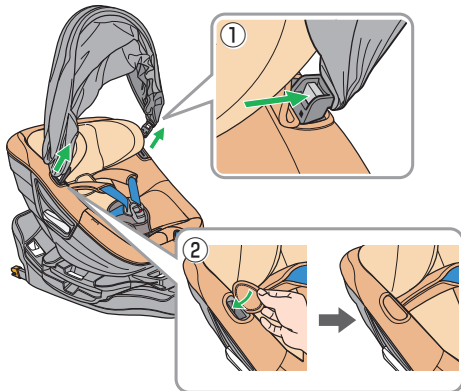
- ① 日よけ背面のボタン(2か所)を外す。
- ② 日よけをたたむ。



注意

日よけを取り外す時は、無理に引っ張らないでください。
破損するおそれがあります。

2 左右の灰色のボタンを押し
ながら日よけを引き抜く



- ① 日よけのボタンを押しながら、引き抜く。
- ② フラップを本体カバーの内側に入れる。

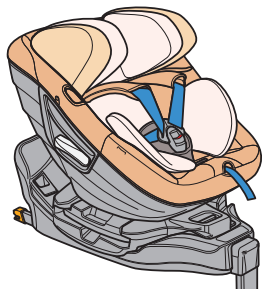


インナークッションの使いかた

お子さまの身長に合わせてインナークッションを取り付け、または取り外す。

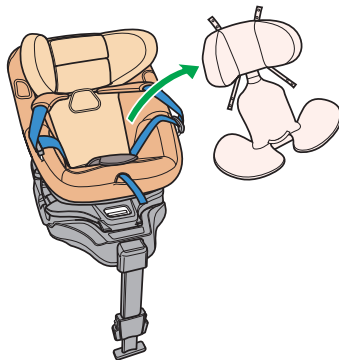
身長60cm以下

インナークッションを使用する。



身長60cmを超えたら

インナークッションを外す。



動画

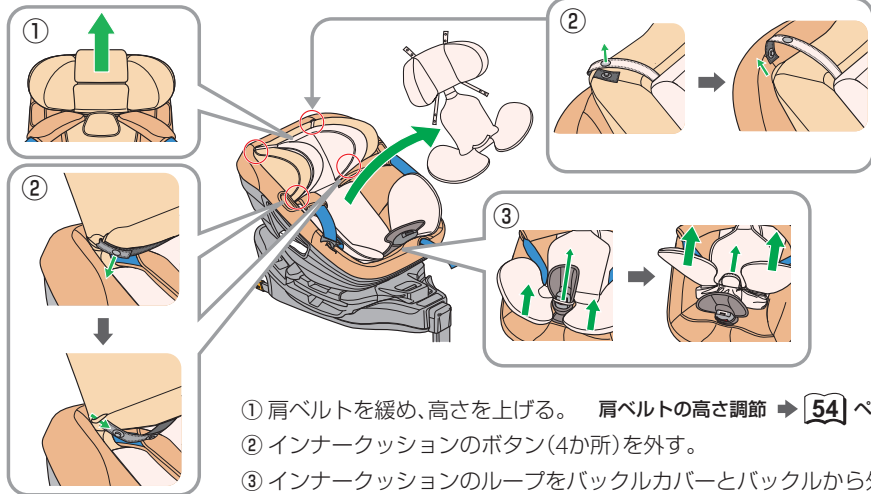
インナークッション
の使用方法





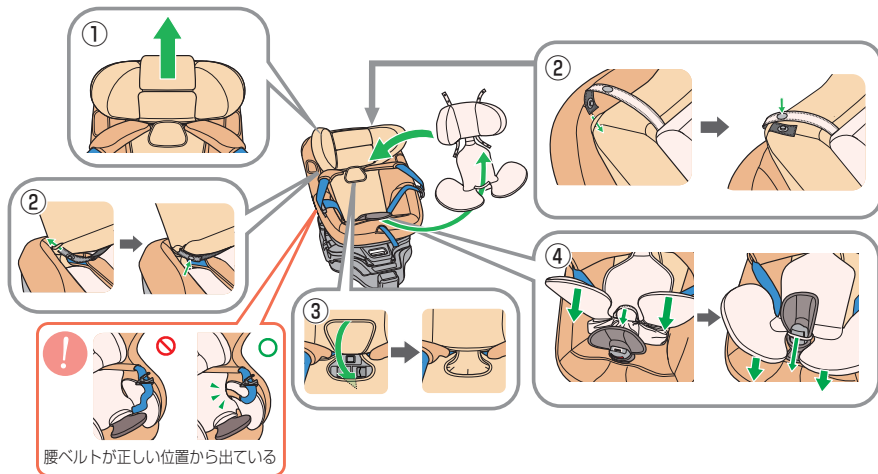
インナークッションの使いかた *グレードにより仕様が異なる場合があります。

インナークッション*の取り外しかた



インナークッション*の取り付けかた

*グレードにより仕様が異なる場合があります。

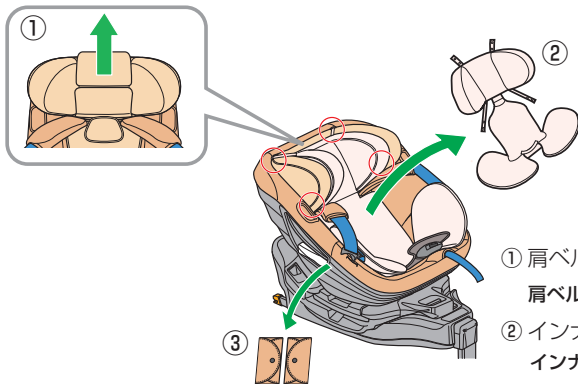


- ① 肩ベルトを緩め、高さを上げる。 肩ベルトの高さ調節 → **54** ページへ
- ② インナークッションのテープをヘッドレストのループに通し、ボタン(4か所)を留める。
- ③ 肩ベルトの高さを下げ、フラップをカバーの内側に入れる。
- ④ バックルカバーとバックルをインナークッションのループに通す。

カバーを取り外す

* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

- 1** 肩ベルトを緩めて、高さを一番上まで上げ、インナークッション*、腰ベルトカバー*を取り外す



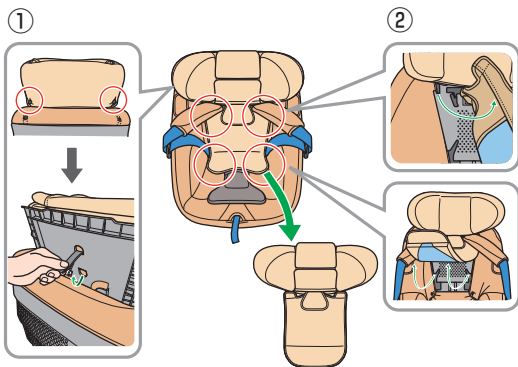
- ① 肩ベルトを緩め、高さを一番上にする。
肩ベルトの高さ調節 ➔ **54** ページへ
- ② インナークッションを取り外す。
インナークッションの取り外しかた
➔ **60** ページへ
- ③ 腰ベルトカバーを取り外す。

動画

カバーの取外方法・
取付方法

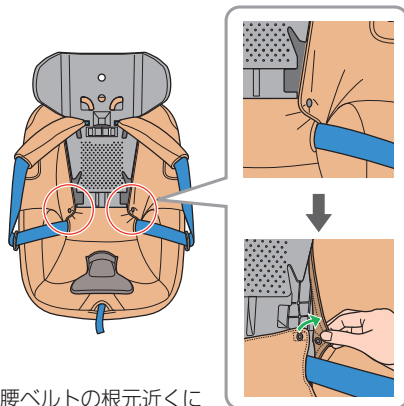


2 背もたれカバーを取り外す



- ① 背もたれカバーのボタン(2か所)を外し、フックを外す。
- ② 背もたれカバーを固定部(2か所)から外し、下にずらして取り外す。

3 本体カバーのボタンを外す



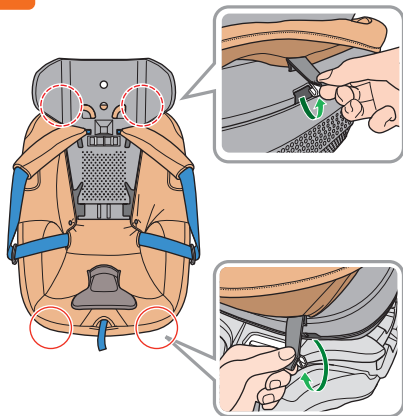
腰ベルトの根元近くにあるボタン(2か所)を外す。



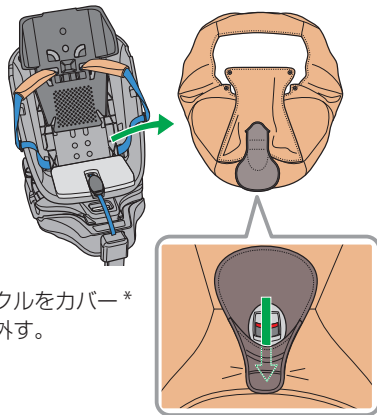
カバーを取り外す

*グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

4 本体カバーのフック(4か所)を外す



5 本体カバーを外す



バックルをカバー*から外す。

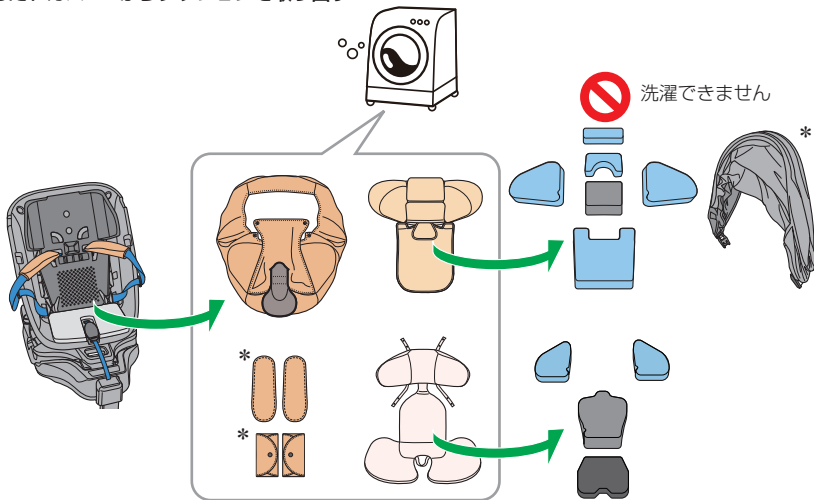
参考

本品のクッション及び、カバー類のウレタンフォームが変色する場合がありますが、使用上の問題はありません。

6

カバー類を洗濯する際はインナークッション*、
背もたれカバー*からクッションを取り出す

*グレードにより仕様が異なる場合や付属
されていない場合があります。



⚠ 注意 肩ベルトカバーは取り外せません。

お手入れのしかた

■ お手入れの際の注意

チャイルドシートから取り外したカバー類は、以下の注意に従ってお手入れしてください。

- 洗えないカバー類やクッション類が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- カバー類で覆われていないところの汚れは、柔らかいきれいな布で拭いてください。それでも落ちない場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- 本体の強度が落ちますので、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- 洗濯の回数やカバーの経年劣化の状態によっては、シワ等が発生する場合がありますが、性能に問題はありません。



注意

タンブル乾燥やねじり絞りは避けてください。クッションが変形するおそれがあります。

洗濯上の注意

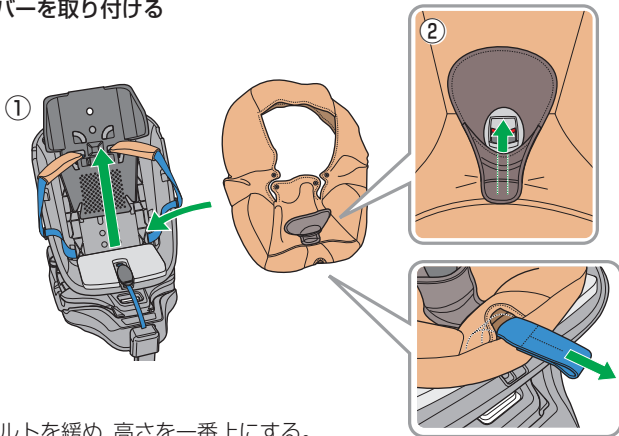
	30℃以下の液温で、洗濯機は弱水流または弱い手洗いモードで洗濯してください。また、必ず洗濯ネットおよび、中性洗剤を使用してください。
	塩素系および酸素系漂白剤による漂白はできません。
	タンブル乾燥はできません。
	洗濯機で脱水後、形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。ねじり絞りは避けてください。
	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	弱い操作によるウェットクリーニングができます。

*一部アイロンが掛けられないカバー類があり、注意ラベルが付けられておりますのでご確認ください。

カバーを取り付ける

* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

1 本体カバーを取り付ける



- ① 肩ベルトを緩め、高さを一番上にする。
- ② バックル、肩ベルトアジャスターをカバーに通す。

肩ベルトの高さ調節 ➡ **54** ページへ

動画

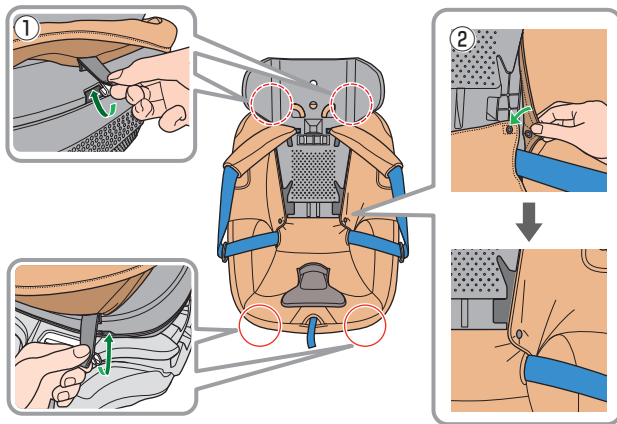
カバーの取外方法・
取付方法





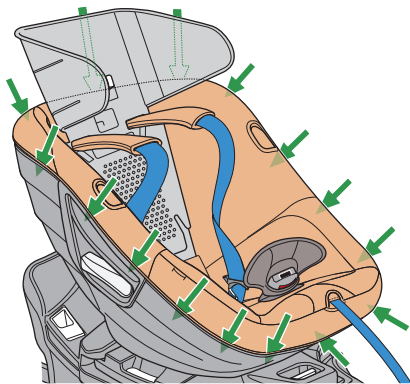
カバーを取り付ける

2 本体カバーをかぶせ、フック、ボタンを留める



- ① 本体カバーをかぶせ、フック(4か所)を引っ掛ける。
- ② 本体カバーのボタン(2か所)を留める。

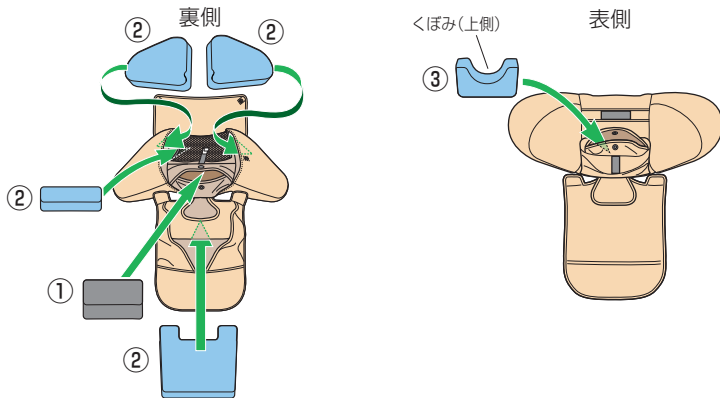
3 シートの溝に本体カバーの端を入れ込む



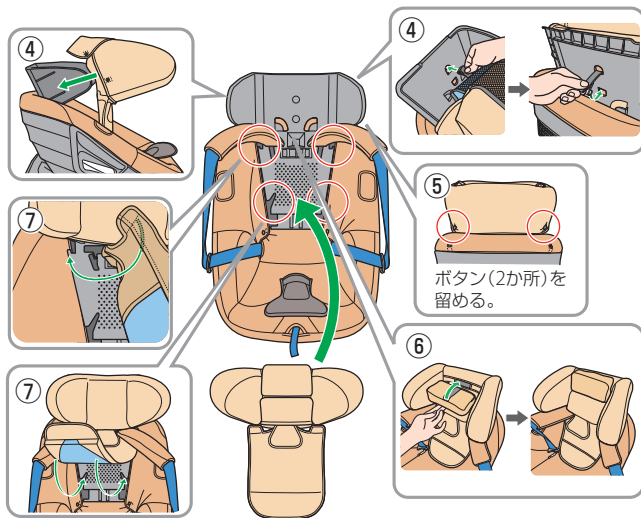
カバーを取り付ける

4 背もたれカバーを取り付ける

- ① 裏側からヘッドレストクッション(下)を入れてボタン(1か所)を留める。
- ② サイドクッション・ヘッドレストクッション(裏側)・背もたれクッションを入れる。
- ③ 表側からヘッドレストクッション(上)を入れてボタンを留める。



- ④ 前方からカバーをかぶせ、フックをヘッドレスト上側の穴に通し、下側の穴に引っ掛ける。
- ⑤ ボタン(2か所)を留める。
- ⑥ ヘッドレストクッション(上)を背もたれカバーに押し付ける。
- ⑦ 固定部(2か所)に引っ掛け、背もたれ下側に引っ掛ける。



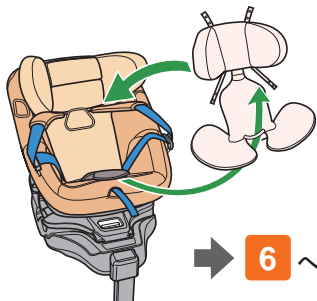


カバーを取り付ける

5 お子さまの身長に合わせてインナークッションを取り付ける

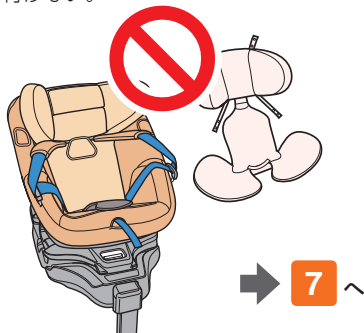
身長60cm以下

インナークッションを
取り付ける。



身長60cmを超えたら

インナークッションを取り
付けない。



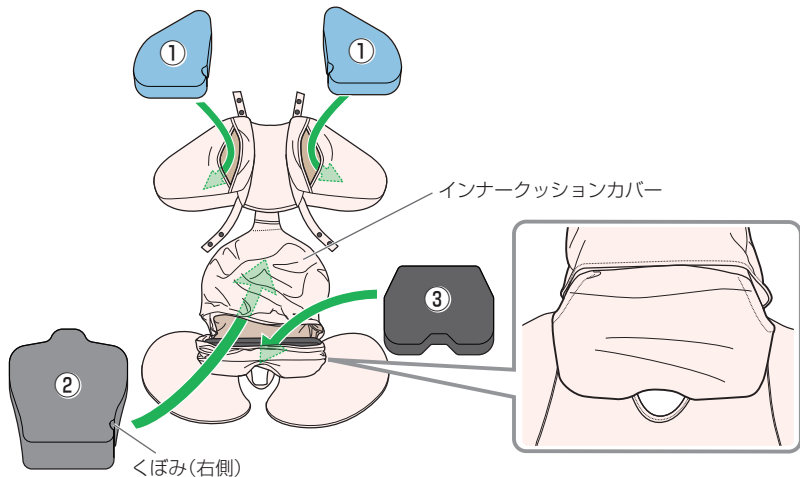
6

インナークッションを取り付ける

*グレードにより仕様が異なる場合があります。

- ① ①インナーサイドクッション ②フラットクッション ③ヒップクッションの順にインナークッションカバー*に入れる。
② インナークッションを取り付ける。

インナークッションの取り付けかた ➡ **61** ページへ





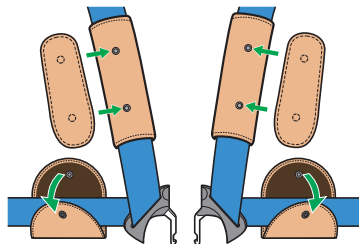
カバーを取り付ける

*グレードにより仕様が異なる場合や
付属されていない場合があります。

7

カバー類を取り付ける

よだれパッド*、腰ベルトカバー*を取り付ける



よだれパッドを肩ベルトにボタンで留める。
腰ベルトカバーを腰ベルトに巻き、ボタンで留める。

—MEMO—

よくあるご質問

よくあるご質問は以下のエールベベWEBページまたはQRコードから確認することができます。
よくあるご質問では、チャイルドシートについての疑問・質問への回答、およびアドバイスを行っています。

パソコンから・・・ <https://ailebebe.jp/support/>

よくあるご質問



スマホから・・・

パーツの購入はこちらから・・・



お客様の疑問・質問が掲載されていない場合は、お手数ですが、AIチャットボットまたは巻末に記載のWEBサイトよりお問い合わせください。

AIチャットボットでのお問い合わせについて

LINEのチャットでチャイルドシートに関するお問い合わせに24時間ご対応いたします。

下記QRコードからCarmate を友だち追加することでご利用いただけます。

※内容によっては、お答えできない場合があります。あらかじめご了承ください。



製品仕様

製品寸法(高さ×幅×奥行)：540×440×650 mm

(ヘッドレストを最も下げ、リクライニングが「1段目」、サポートレッグ・日よけを含まず)

製品質量：約16.2 kg、仕様により異なる(日よけを除く)

本体材質：ポリプロピレン、ポリアミド、ポリアセタール、ABS等

本体カバー：ポリエステル、ウレタンフォーム等

本体クッション：ポリプロピレン、ウレタン等

保管方法

サポートレッグを収納し、本品に市販の袋等をかぶせて、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 事故により本品を処分する場合は、油性ペン等で本品の目立つところに「事故品」と記載してください。

—MEMO—

—MEMO—

重要

ご購入後、直ちに製品登録をお願いします。

リコール制度について

2004年から、チャイルドシートのリコール制度が始まりました。ご購入いただいた商品とお客様情報をご登録いただいたお客様には、万が一製造上の問題等が生じた場合、弊社より直ちにお知らせし、安全な状態でご使用いただけるよう製品の改善を実施いたします。この登録システムは、国土交通省が推奨しています。

ご登録方法

パソコンから

スマホ・ケータイから

<https://ailebebe.jp/entry.html>



お問い合わせ先

株式会社カーメイト

〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

お問い合わせ ▶ カーメイトWebサイト【お客様サポート】



- 本書に記載している他社商標については、カーメイトWEBサイトをご確認ください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の誤った取り扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

20240711